

JapanKnowledge の使い方

辞書・事典の検索を中心とした知識探索サイトです。ひとつの検索語ですべての資料の項目が検索対象になります。さらに複数の辞書・事典を一度に検索することができるので、同じ項目の内容を比較検討することが可能です。辞書・事典だけでなく「現代用語の基礎知識」、「日経キーワード」、「会社四季報」、「日本統計年鑑」等で最新の言葉や情報も調べられます。ウィキペディアよりも信頼性の高い情報を調べられるのでレポート作成に最適です。

アクセス方法：図書館ホームページ > データベース > 辞書・事典を調べる > JapanKnowledge

- ・大学発行の Gmail で認証してご利用ください。学外からも利用できます。
- ※一般利用者の方は図書館内の端末のみで利用できます。学外からの利用はできません。
- ※同時アクセスは「1」です。他の方が利用中だった場合は時間を置いて再度お試しください。

- ・キーワード等を入力し「検索する」をクリック。

JapanKnowledge Lib

コンテンツ | 使い方/サポート | ガイド | Eng | 新潟青陵大学 様 | ログアウト

基本検索 | 詳細 (個別) 検索 | 本棚

見出し | 少子化 | 検索 | フレーズ検索

検索コンテンツ

リセット

百科 2

日本語 5

歴史・地名 0

英語 4

外国語 2

用語・情報 11

人名・文化・宗教 0

自然科学 0

社会科学・統計 1

記事・コラム 7

叢書・日本文学 0

検索対象を「見出し」「全文」から選べます

フリーワードで検索できます

利用終了後、必ず「ログアウト」してください

検索コンテンツを選べます

出典

執筆者

関連項目へのリンク

32件

1. しょうしか【少子化】

めめる子供の数が少なくなる。統計的には、合計特殊出生率（1人の女性が生涯にわたって産む子ども数）が人口置換水準（長期的に人口が増減しない水準）を下回る状態を指す。また、その結果子どもの数が少なくなる傾向。

2. しょうしか【少子化】

a dwindling [declining] birthrate; a declining [decreasing] number of children ...

3. しょうしか【少子化】

a declining [falling] birthrate 落ちつつある【下降している、下がりつつある】出生率、(意訳)少子化

4. しょうしか【少子化】

descenso m. de natalidad

5. しょうしか【少子化】

diminuzione[女][calo[男]]

6. しょうしか【少子化】

現代用語の基礎知識

7. 80万人割れ少子化【2024】

厚生労働省の人口動態統計によると、2022年の出生数は7年連続で減少し、過去最少だった21年を4万875人下回る77万747人となった。これは、初めての80万 ...

デジタル大辞泉

合計特殊出生率

水 ...

日本国語大辞典

【発音】 ショーシ

プログレッシブ和英大辞典

ビジネス技術実用英語

和英辞典

和伊中辞典

現代用語の基礎知識

日本大百科全書 (ニッポニカ)

少子化問題

しょうしかもんだい

少子化とは、出生率の低下に伴って、将来の人口が長期的に減少する現象をさす。日本の合計特殊出生率（1人の女性が生涯にわたって産む子ども数）は、1947年（昭和22）の4.54から持続的に低下し、2022年（令和4）で1.26と主要7カ国（G7）のうちでも低い水準となっている。出生率の低下は、人々の意識の変化に基づくものとされているが、その背景としての経済社会環境の変化が重要である。日本では、おもに男性が仕事、女性が家事・子育てに専念するという、男女の固定的な役割分担を前提として、多くの社会制度が成立している。また、正社員の慢性的な残業や頻繁な配置転換・転勤を伴う働き方は、家事・子育てに専念する主婦の存在を暗黙の前提としている。女性の高学歴化が進むなかで、女性は結婚後に子育てと就業継続のどちらに重点を置くか選択を迫られる場合が多い。子育てを重視すれば管理職となることは困難であり、仕事を優先すれば、子どもを育てることは困難になり、出生率が低下することになる。

すでに労働力人口が減少し、経済活動や所得水準が長期停滞するなかで、現役世代の税・社会保障負担が持続的に高まり、経済社会の活力を損ねることが関係で、結婚や出産の自由な選択を妨げている現行の社会制度の変化に大きく左右されない社会制度を構築すること。

執筆者

[八代尚宏]

2024年2月16日

少子化の背景

少子化の現状

日本の年間出生者数は、第二次世界大戦後のベビーブーム期の1949年に270万人と第一のピークを記録し、その「団塊の世代」が出産期を迎えた1973年に第二のピークを迎えた。しかし、その後は2022年の77万人にまで減少している。これは家族による一時的な産児抑制を反映して異常な落ち込み、その後の回復は限定的で、出生率の低下傾向自体は、先進国に共通した社会現象であるが、その水準には大きな格差がみられ、日本の出生率は、すでにイタリアと並んで相対的に低い水準にある。

前後項目

嶺山

嶺山中

商子

尚書会

少子化白書

少子化問題

抄紙機

硝子質変性

章士釗

尚之信

荷士登

目次

少子化の背景

少子化の現状

少子化はなぜ問題か

少子化の要因

出生率低下と未婚率上昇

女性就業の高まりと意識の変化

女性就業と両立しない雇用慣行

少子化への対応策

子育て費用の軽減

具体的な改革の方向

少子化社会への戦略

KnowledgeSearcher 機能をオンにしておくと、語句をなぞる（ドラッグする）だけでその語句の検索結果を表示できます。

JapanKnowledge Lib

コンテンツ | 使い方／サポート | ガイド | Eng | 新潟青陵大学 様 | ログアウト

日本大百科全書（ニッポニカ）

基本検索 詳細（個別）検索 本棚

少子化問題

しょうしかもんだい

語句をなぞるだけでその意味が表示されます

少子化とは、**出生率**の低下に伴って、将来の人口が長期的に減少する現象をさす。日本の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子どもの平均数）は、2022年（令和4）年は、人々の意識の変化がある。日本では、おもに高齢者の増加と労働力の不足を前提として、多くの転勤を伴う働き方は、が進むなかで、女性はいずれ子育てを重視すれば困難になり、出生率がすでに労働力人口が負担が持続的に高まり関係で、結婚や出産の構成の変化に大きく左右される。

[八代尚宏]

少子化の背景

出生率の低下に伴って、将来の人口が長期的に減少する現象をさす。日本の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産む子どもの平均数）は、2022年（令和4）年は、人々の意識の変化がある。日本では、おもに高齢者の増加と労働力の不足を前提として、多くの転勤を伴う働き方は、が進むなかで、女性はいずれ子育てを重視すれば困難になり、出生率がすでに労働力人口が負担が持続的に高まり関係で、結婚や出産の構成の変化に大きく左右される。

[八代尚宏]

Knowledge Searcher 引用元挿入機能 前項目 次の項目 印刷 凡例

前後項目

- 嘯山
- 詔山冲
- 商子
- 尚齒会
- 少子化白書
- 少子化問題抄紙機
- 硝子質変性章士釗
- 尚之信
- 荷士録

目次

- 少子化の背景
- 少子化の現状
- 少子化はなぜ問題か
- 少子化の要因
 - 出生率低下と未婚率上昇
 - 女性の就業の多さと意識の変化
 - 雇用慣行

画面左下の◀をクリックするとツールバーが展開されます

大きな格差がみられ、日本の出生率は、すでにイタリアと並んで相対的に低い水準にある。

少子化社会への戦略